

(2) D-project 香川 メディア教育研究会 夏季セミナー  
～つなぐ・かかわる授業づくり～

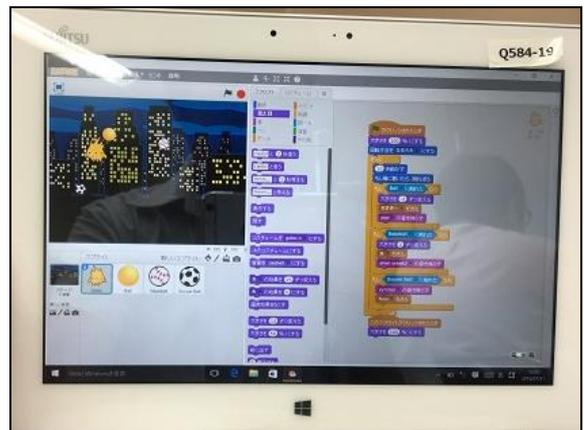
- ① 日時 平成 28 年 7 月 31 日(日) 9:00～17:00
- ② 場所 丸亀市保健福祉センター (ひまわりセンター)
- ③ 内容

ア 基調講演

「ICTを活用した環境～今後の展望(私見)も含めて～」という演題で、放送大学・中川一史教授から基調講演が行われた。従来の非ICTである教材・教具(静的なツール)と、IWBやTPCなどのICT(動的なツール)、それぞれの特性を生かすことや、アクティブ・ラーニングからの不断の授業改善に取り組むことの大切さが語られた。

イ ワークショップ1

SCRATCH を使って、お話づくりをしながらのプログラミング体験を行った。このソフトウェアは、小学生でも容易にプログラミングができるように、日本語のパズルを組み合わせるようにしてキャラクターなどの動きを制御していくことができる。〇〇が起ると(例:ボールが当たると)場面が切り替わって別の世界へ行く、というお話を作り、実際にそのように動くようにプログラムしていくのは非常に面白く、子どもたちも夢中になって取り組むだろうと感じた。



ウ ワークショップ2

「マチアルキARアプリ」(東京書籍)を使って、実際に丸亀城探検を行った。マチアルキとは、アプリを起動して看板や建物などにタブレット端末をかざすと、その場所・その町の歴史や豆知識が再生されるアプリケーションである。GPS(位置情報)とAR(形認識)により、必要な場所で必要な説明が見えるように設定されており、スタンプラリーのようにグループで説明を聞きながら見学することができる。また、学んだことを情報発信することも可能で、今後様々な授業の可能性が見えてきた。



エ クロージングパネル

金沢星稜大学・佐藤幸江教授から、つなぐ・かかわる授業づくりのポイントについて話があった。また、パネルディスカッション形式で行われ、愛媛県からは、八坂小学校石田年保先生が登壇した。課題設定や、教師の介入の仕方、個・協働・全体の場、児童自身が活動を評価し組み立てること等、たくさんのポイントが挙げられた。